

NOSAI の台風対策



No. 1



平成19年 7月13日
神奈川県農業共済組合

台風4号の接近及び通過等に伴う農作物等の被害防止対策

[水稲]

1. 深水湛水：水田に水を深く張り、倒伏や急性萎凋を防ぎます。
2. 排水対策：浸水・冠水した場合、速やかに水田から排水し、新鮮な水で2～3回湛水・排水を繰り返します。
3. 病虫害対策：台風襲来後は、白葉枯病やウンカ類の発生が多くなりますので発生予報に注意します。
4. 追肥：出穂期前に台風の被害にあった場合は、追肥を控え生育が回復してから追肥の是非・施用量について判断を行います。

[野菜]

(露地野菜)

1. 被覆資材での被覆：寒冷紗等でべたがけを行い、風で飛ばされないようにします。
2. 排水対策：水害を伴った場合、速やかに排水対策を行います。
3. 薬剤散布：傷口から病原菌が侵入するので早めに殺菌剤の散布を行います。
4. 草勢の回復：圃場の水分状態が安定してきたら、中耕・追肥を行います。

(施設野菜)

1. 補強対策：風を施設内に入れないようにする。風に弱い天窓や両妻部の補強を行います。

[果樹]

1. 棚のあおり止め：強風による棚の波打ち現象を軽減するために、数カ所にアンカーを打ち込みます。
2. 開口部の閉鎖：平棚園では出入口などの開口部から強風が吹き込み、棚面を吹き上げるように揺らすので、開口部を閉鎖します。
3. 樹体損傷：樹が傷ついた場合、切口や傷口は必ずペースト剤を塗布します。

[花き]

(施設栽培)

- 1 . 補強対策 : 風に弱い天窓や両妻部の補強を行い、風を施設内に侵入しないようにします。
- 2 . 薬剤散布 : 傷口からの病菌の侵入を防ぐために早期に殺菌剤の散布を行います。
- 3 . 通過後対策 : ある程度風がおさまったら、早急に風下側の開口部の開放、天窓の開放、そして風上の開放の順で通風を図り、高温と高湿の状態から作物を開放します。

(資料提供 : 農業技術センター普及指導部)